

市役所で
働く
男女の
意識調査

結果報告

平成 6 年 2 月に「市役所で働く男女の意識調査」を実施しました。この調査では男性と女性の意識を対比させることを主眼として、日常業務に対する考えや職場における男女の固定的役割分担意識、あるいは家庭での育児、介護への関わりをどのように考えているか探ってみました。

調査表送付数 3,804 に対し 3,309 人（男性 1,619 人、女性 1,690 人）より回答（回答率 87%）がありました。

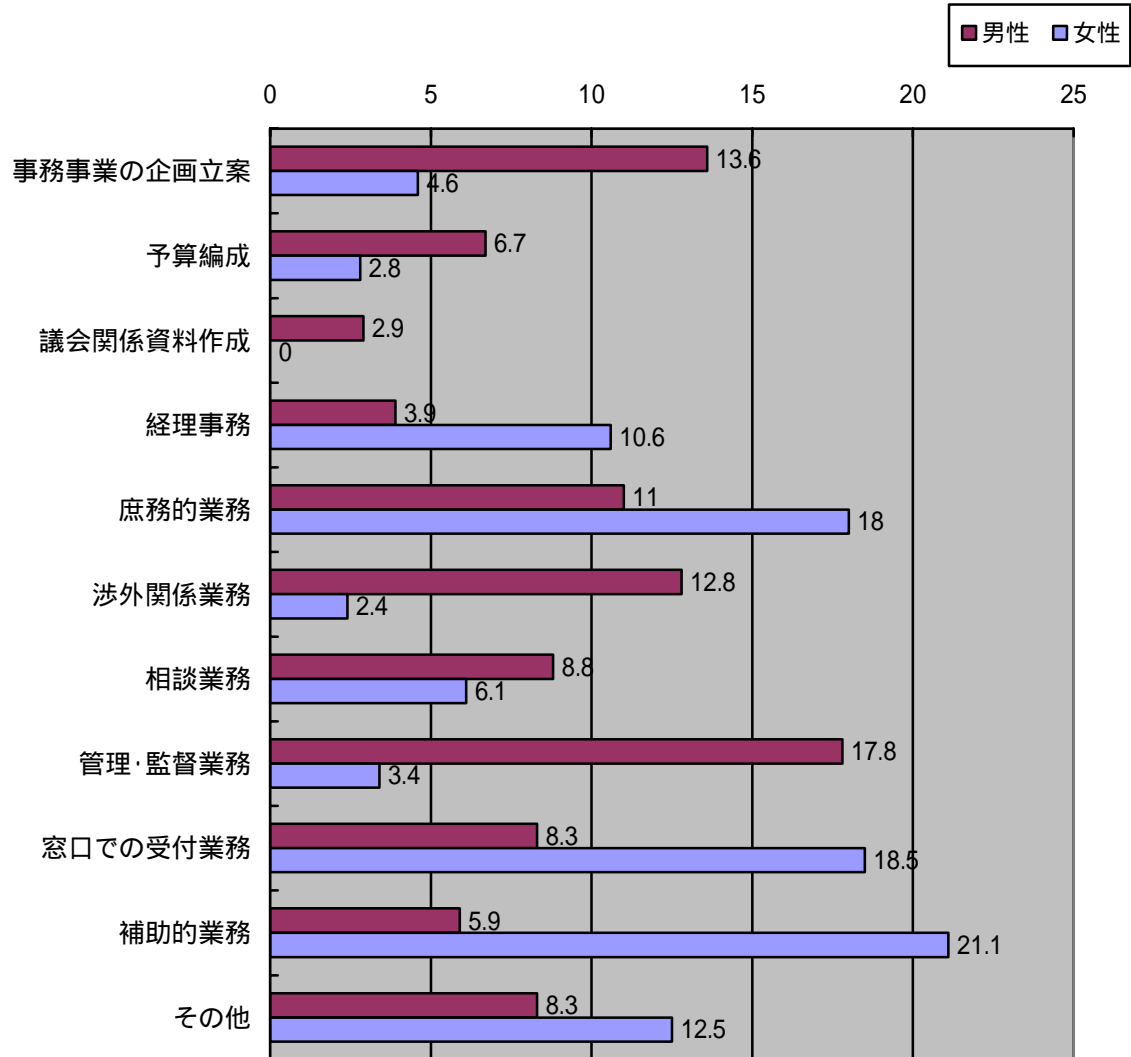
この報告書が職場などで話題として取り上げられ、男女が気持ち良く働ける職場づくりにむけての意見交換のきっかけとなれば幸いです。

目次		ページ
問 1	(事務職の方にお尋ねします) あなたは主にどのような仕事をしていますか。当てはまるものを 3 つまで選んで下さい。	3~4
問 2	今の仕事にやりがいを感じますか。あてはまるものを 1 つ選んで下さい。	5
付問	今の仕事にやりがいを感じない又はどちらかといえば感じないのはなぜですか。最も近いものを 1 つ選んで下さい。	6
問 3	あなたは異動を何回経験しましたか。(課内異動は除く)	7
問 4	現在、女性の役付職員数の数が少ないことについてどう思いますか。あてはまるものを 1 つ選んで下さい。	8
問 5	直属の上司は男性と女性どちらがよいと思いますか。あてはまるものを 1 つ選んで下さい。	9
問 6	あなたが現在働いているなかで、あるいは今後働き続けるうえで何か問題がありますか。あれば 2 つまで選んで下さい。	10
問 7	職場でお茶くみは主にどなたが行っていますか。来客用と課内の職員用、また準備と後片付けについて、それぞれあてはまるものを 1 つ選んで下さい。	11
問 8	今後、職場のお茶くみをどのような形態で行ったらよいと思いますか。あてはまるものを 1 つ選んで下さい。	12~14
問 9	制服を女性職員のみ全員着用しなくてはいけないことについてどう思いますか。あてはまるものを 1 つ選んで下さい。	15
問 1 0	現在、共働きで小学生以下の子供のいる方にお尋ねします。 問 A 小学校入学まで子育てを勤務中どなたがしていますか。 問 B 小学校入学後の子育てを勤務中どなたがしていますか。	16

	ページ	
問 1 1	もしあなたに育児休暇を取る必要が生じたらどうしますか。あてはまるものを 1 つ選んで下さい。	17
問 1 2	女性の方は「男性にしてほしいと思う家事育児」を男性の方は「男性がしてもよいと思う家事育児」を次の中から 3 つまで選んで下さい。	18 ~ 19
問 1 3	あなたの親が、常時介護が必要になったときどうしますか。1 つ選んで下さい。	20 ~ 21
問 1 4	あなたは今、どのような地域活動に積極的に参加していますか。あてはまるものを選んで下さい。	22
問 1 5	セクシャルハラスメント（性的いやがらせ）の解決策についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを 1 つ選んで下さい。	23 ~ 24
問 1 6	職場で男性と女性が互いによきパートナーとして仕事をしていくために重要と考えられるものを 3 つまで選んで下さい。	25 ~ 27
問 1 7	女性の方にお聞きします。職場において女性であることが不利だと感じたことがありましたらお書き下さい。	28 ~ 31
問 1 8	男性の方にお聞きします。職場の女性への意見または期待がありましたら具体的にお書き下さい。	32 ~ 35
問 1 9	女性課に対して望むことがありましたらお書き下さい。	36 ~ 39

問 1(その 1)

(事務職の方にお尋ねします) あなたは主にどのような仕事をしていますか。当てはまるものを 3 つまで選んで下さい。



コメント

- ・ 男性が女性を大きく上回る業務内容は「企画立案」が 9 ポイント、「渉外関係」が 10 ポイント、「管理監督」が 14 ポイントとなっている。
- ・ 女性の主な業務として「補助的業務」「窓口での受付」「庶務的業務」が上位を占めている。
- ・ 女性が「企画立案」「予算編成」「議会関係」「渉外」「管理監督」に関わることは少ない。

問1(その2)

(事務職の方にお尋ねします)あなたは主にどのような仕事をしていますか。あてはまるものを3つまで選んで下さい。

男女別、年代別

(男性)

(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
企画立案	6.0	16.6	14.6	13.1
予算編成	7.9	8.6	7.5	3.8
議会関係資料作成	2.8	3.5	3.7	1.6
経理事務	7.4	4.9	3.5	2.6
庶務	17.2	13.6	9.7	8.4
渉外関係	8.4	14.3	13.1	13.1
相談	11.6	9.4	7.9	8.8
管理・監督	0.5	3.2	23.7	27.3
窓口での受付	18.1	10.7	7.0	4.5
補助的業務	10.1	5.2	3.5	7.7
その他	10.0	10.0	5.8	9.1

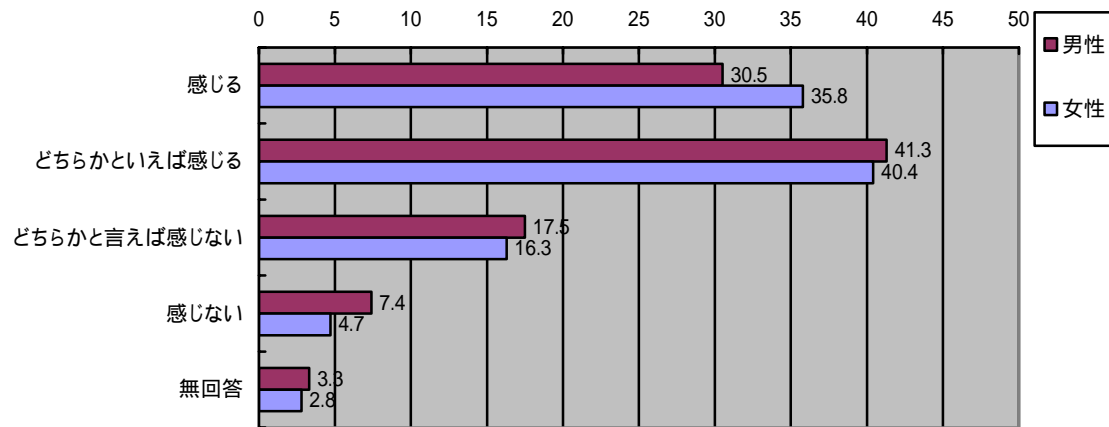
(女性)

(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
企画立案	2.0	4.6	6.8	3.2
予算編成	3.5	1.3	1.7	5.0
議会関係資料作成	0.0	0.7	0.3	0.9
経理事務	10.1	10.5	9.0	14.1
庶務	18.2	14.4	19.1	18.7
渉外関係	0.6	3.4	2.8	3.3
相談	5.1	7.9	7.1	4.1
管理・監督	0.0	1.3	3.3	8.2
窓口での受付	20.2	20.9	18.0	16.4
補助的業務	25.4	20.9	21.6	16.5
その他	14.9	14.1	10.3	9.6

問2

今の仕事にやりがいを感じますか。あてはまるものを1つ選んで下さい。



コメント

- ・ やりがいに対する男女差はやりがいを感じる女性のほうがやや多い。
- ・ やりがいを感じない30～40代の男性が同年代の女性の倍。
- ・ やりがいを積極的に感じる女性は各年代とも差がないが男性は年代により1.5倍の差がある。

年代別では(無回答除く)

(男性)

(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
感じる	34.4	24.9	25.6	41.3
どちらかといえ ば感じる	42.6	44.9	43.1	41.1
どちらかといえ ば感じない	16.5	19.2	21.9	14.1
感じない	6.5	11.0	9.4	3.5

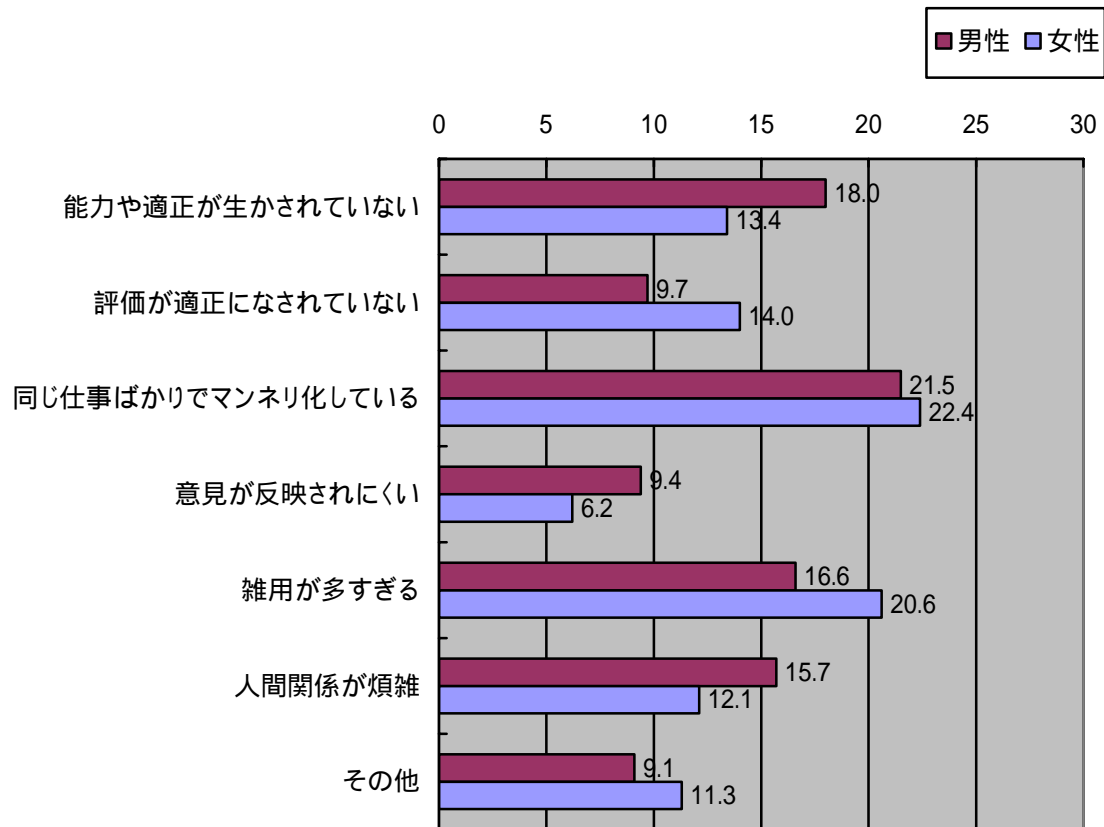
(女性)

(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
感じる	35.9	38.6	35.1	39.1
どちらかといえ ば感じる	41.7	43.1	41.7	39.7
どちらかといえ ば感じない	15.6	13.8	19.1	17.5
感じない	6.8	4.5	4.1	3.7

問2 付問

今の仕事にやりがいを感じない又はどちらかといえば感じないのはなぜですか。最も近いものを1つ選んで下さい。(3又は4と答えた方のみ)

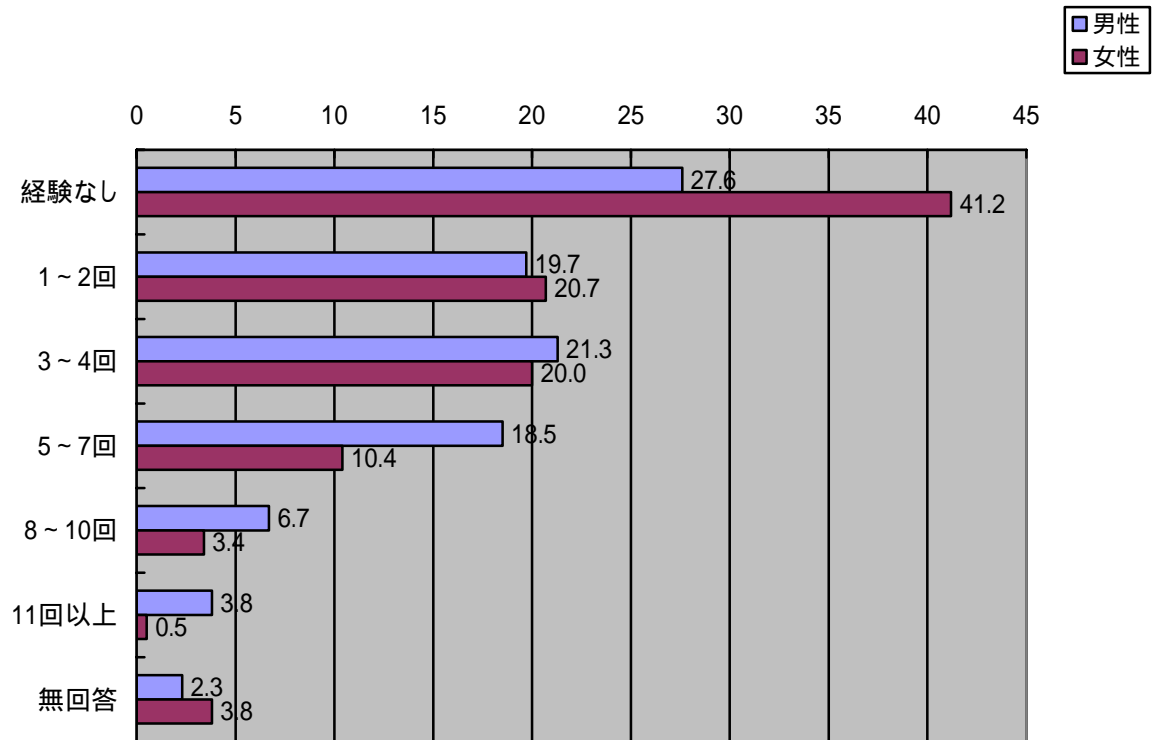


コメント

- ・ 男女とも仕事のマンネリ化が第1位を占めている。
- ・ 男性と比較して、女性は「評価が適正になされていない」「雑用が多すぎる」と感じている人が多い。
- ・ 仕事に対して自己の能力や適正が十分に活かされていないと感じているのは男性が多い。

問3

あなたは異動を何回経験しましたか。(課内異動は除く)

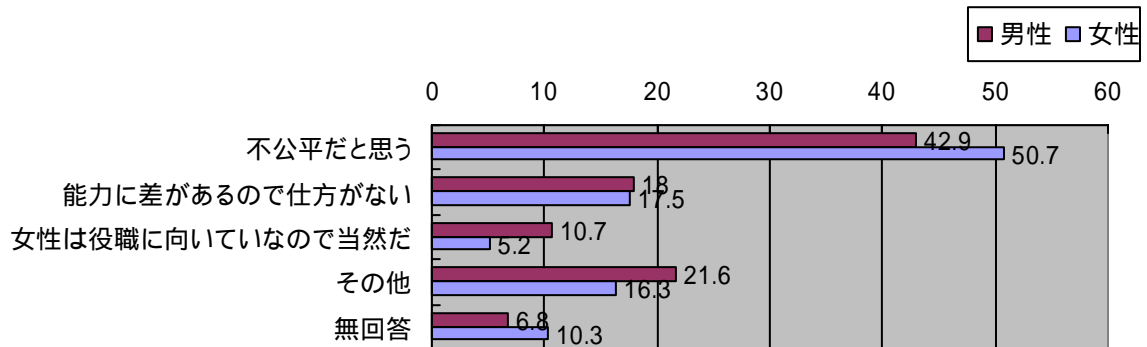


コメント

- ・ 「異動経験なし」と答えた女性が4割を占めている。但し、専門職(看護婦、保母)を含めての数である。
- ・ 5回以上の異動となると男性の方が女性の方と比較して倍近い数となっている。

問 4

現在、女性の役付職員の数が少ないことについてどう思いますか。あてはまるものを 1 つ選んで下さい。



コメント

- ・ 「不公平」を感じているのは女性が 8 ポイント男性を上回る。特に若い女性が多い。
- ・ 男女とも年齢が高くなるほど「能力に差があるから仕方ない」と思っている。
- ・ 「女性は役職に向いていない」と考えている男性は女性を大きく上回る。女性の中でも年齢が高くなるほどその考えが強い。
- ・ 「不公平」「能力差」「女性の役職への適性」それぞれに対する年齢差による考えの違いは女性の方が顕著に表れている。

年齢別では（無回答を除く）

（男性）

（%）

	29 才以下	30 才	40 才	50 才以上
不公平	47.5	49.4	46.2	42.8
能力に差があるので仕方ない	17.5	14.2	18.8	24.5
女性は役職に向いていない	9.7	8.5	11.9	14.0
その他	25.3	27.9	23.1	18.7

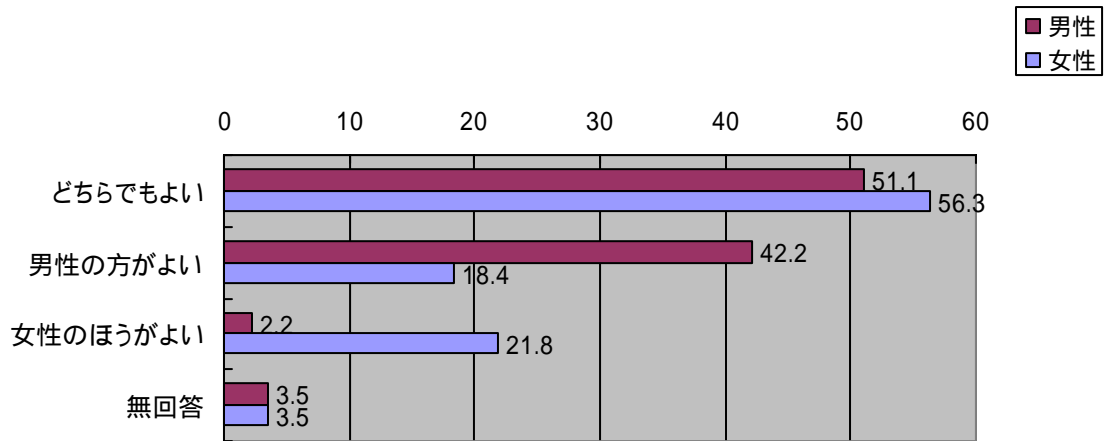
（女性）

（%）

	29 才以下	30 才	40 才	50 才以上
不公平	63.8	61.1	53.5	45.9
能力に差があるので仕方ない	11.4	14.4	24.3	28.5
女性は役職に向いていない	2.5	3.0	6.6	12.5
その他	22.3	21.5	15.6	13.1

問 5

直属の上司は男性と女性とどちらがよいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで下さい。



コメント

- ・ 男女とも直属の上司は男性でも女性でもよいと答えた人は半数を上回る。
- ・ 男性にとって直属の上司は女性がよいとの回答は極めて少ない。
- ・ 女性にとって直属の上司は女性の方が男性よりよいと思う人がやや多い。特に年齢が若い女性ほどその傾向は著しい。

年代別では（無回答除く）

（男性）

（%）

	29才以下	30才	40才	50才以上
どちらでもよい	58.0	64.1	51.6	47.9
男性の方がよい	39.7	34.4	44.7	51.1
女性の方がよい	2.3	1.5	3.7	1.0

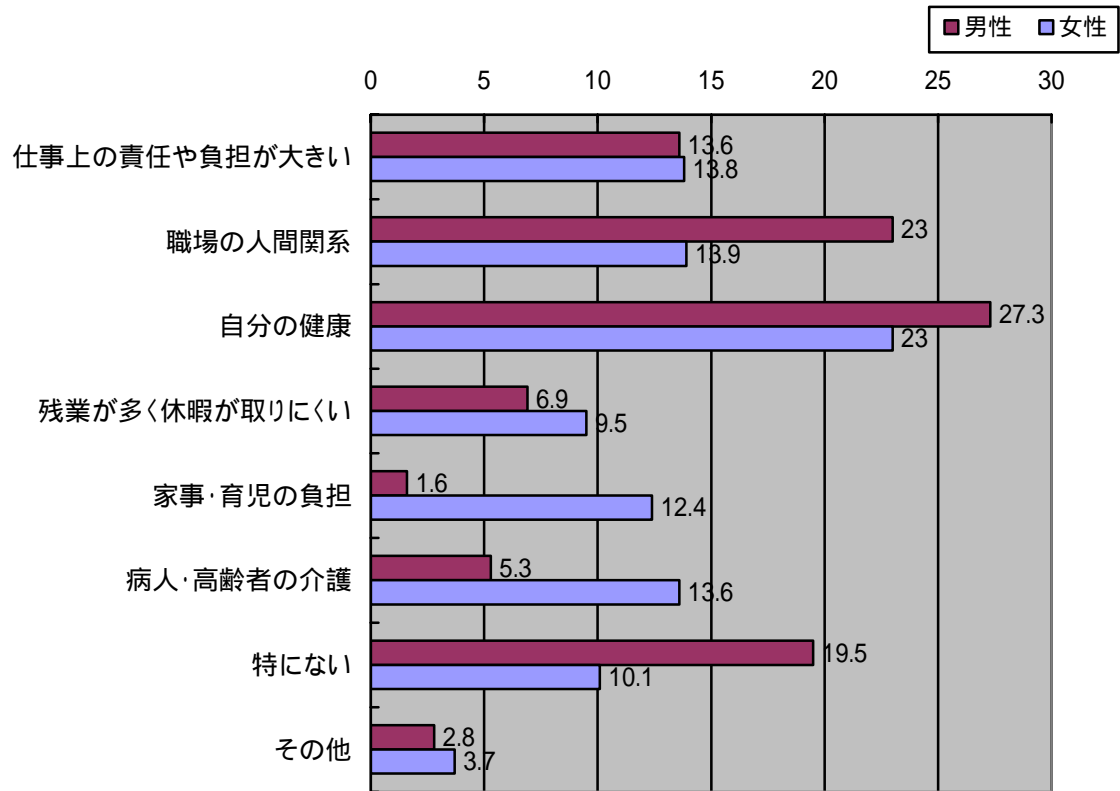
（女性）

（%）

	29才以下	30才	40才	50才以上
どちらでもよい	61.6	58.5	61.7	48.6
男性の方がよい	8.0	9.4	21.1	40.1
女性の方がよい	30.4	32.1	17.2	11.3

問 6

あなたが現在働いているなかで、あるいは今後働き続けるうえで何か問題がありますか。
あれば2つまで選んで下さい。



コメント

- ・ 男女とも自分の健康が問題と第1位にあげている。
- ・ 職場の人間関係が問題と考えている男性が10ポイント女性を上回る。
- ・ 家事、育児、介護が問題と思っている女性が男性を大きく上回る。

問7

職場でお茶くみは主にどなたが行っていますか。来客用と課内の職員用、また準備と後片付けについて、それぞれあてはまるものを1つ選んで下さい。

(来客用) (%)

	男性	女性
女性がしている	67.9	62.0
男性がしている	15.2	0.2
男女に関わらず	5.3	2.7
その他	3.8	10.1
無回答	7.8	25.0

(職員用) (%)

	男性	女性
女性がしている	56.9	59.5
男性がしている	16.3	0.1
男女に関わらず	11.2	6.2
その他	7.6	10.8
無回答	8.0	23.4

(準備・後片付け) (%)

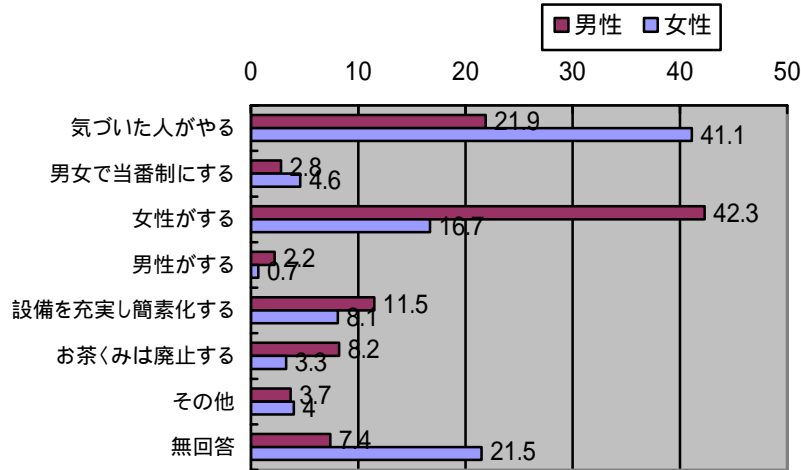
	男性	女性
女性がしている	62.3	62.3
男性がしている	15.4	0.2
男女に関わらず	9.7	4.6
その他	4.6	9.6
無回答	8.0	23.3

コメント

・お茶くみは女性の仕事と言うことが数値にはっきり出ている。どうあるべきかを次の設問で問うことにする。

問 8 その1(来客用)

今後、職場にお茶くみをどのような形態で行ったらよいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで下さい。



コメント

- ・お茶くみは気づいた女性がすればよいと考える女性は4割を占めるのに対し男性は2割。
- ・女性がするのは当然と考える男性は4割以上もあり。また、そのように考える女性も16%あり。
- ・男性がすればよいとの答えは男女とも極めて少ない。
- ・来客に対しお茶くみは必要と男女とも9割以上が思っている。
- ・男女とも年代別による大きな違いはみられない。

年代別では(無回答除く)

(男性)

(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
気づいた人	27.3	24.3	19.4	26.6
男女で当番制	4.2	5.4	2.3	1.8
女性がする	39.4	41.5	51.3	45.0
男性がする	4.2	2.2	1.1	2.9
設備を充実簡素化	9.7	12.8	11.8	14.0
お茶くみ廃止	7.9	8.3	11.4	6.5
その他	7.3	5.5	2.7	3.2

(女性)

(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
気づいた人	54.4	54.6	48.9	52.4
男女で当番制	7.5	6.9	4.5	4.4
女性がする	19.7	13.7	24.9	26.2
男性がする	1.4	0.7	0.9	0.3
設備を充実簡素化	7.8	12.0	12.4	8.7
お茶くみ廃止	3.1	4.8	4.8	4.0
その他	6.1	7.3	3.6	4.0

問 13 (その 2)

あなたの親が、常時介護が必要になったときどうしますか。1つ選んで下さい。

(男女別、年齢別比較)

(男性)

(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
自分が仕事をやめる	1.0	1.0	1.4	7.0
自分が介護休暇	12.9	7.2	4.8	7.7
配偶者が仕事をやめる	10.5	15.3	26.8	23.0
配偶者が介護休暇	5.7	7.8	8.7	7.1
仕事をしていない配偶者	24.3	35.2	27.6	27.8
配偶者以外の親族	7.6	7.5	4.2	1.4
公私のサービス	15.2	9.1	10.2	8.9
家政婦	1.9	1.3	2.7	2.5
施設利用	9.5	5.2	9.5	12.8
その他	11.4	10.4	4.1	1.8

(男性)

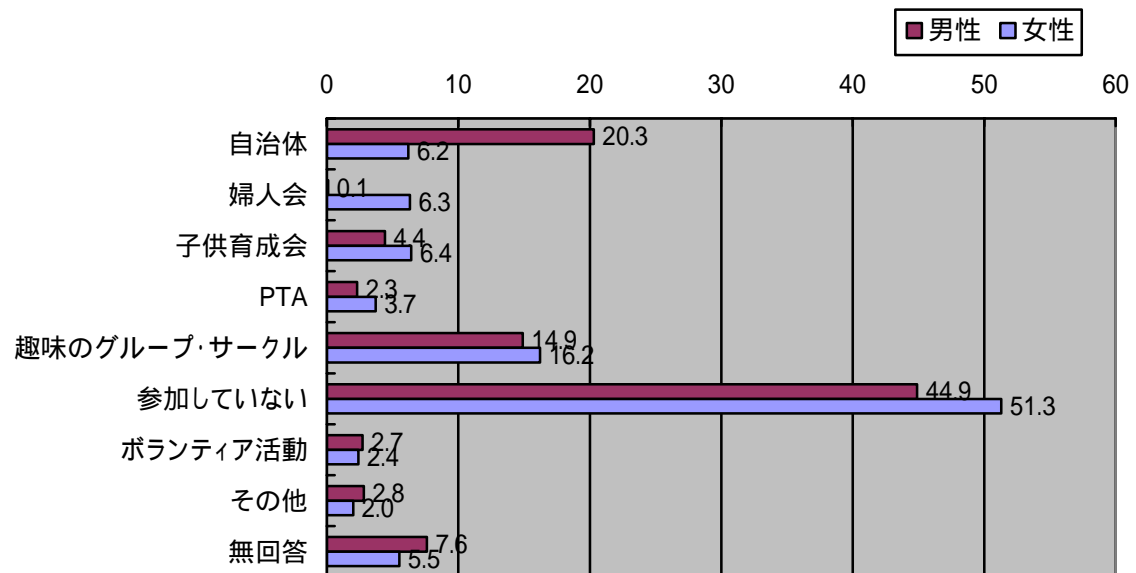
(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
自分が仕事をやめる	33.6	24.5	24.6	22.3
自分が介護休暇	37.4	42.5	37.8	37.3
配偶者が仕事をやめる	0.5	0.3	0.6	0.6
配偶者が介護休暇	1.2	0.3	0.4	0.0
仕事をしていない配偶者	3.9	2.3	2.9	3.4
配偶者以外の親族	2.9	3.7	3.6	3.1
公私のサービス	9.8	8.3	11.5	11.0
家政婦	0.2	2.6	0.9	1.6
施設利用	2.2	7.6	13.1	16.3
その他	8.3	7.9	4.6	4.4

(無回答除く)

問 14

あなたは今、どのような地域活動に積極的に参加していますか。あてはまるものを選んで下さい。



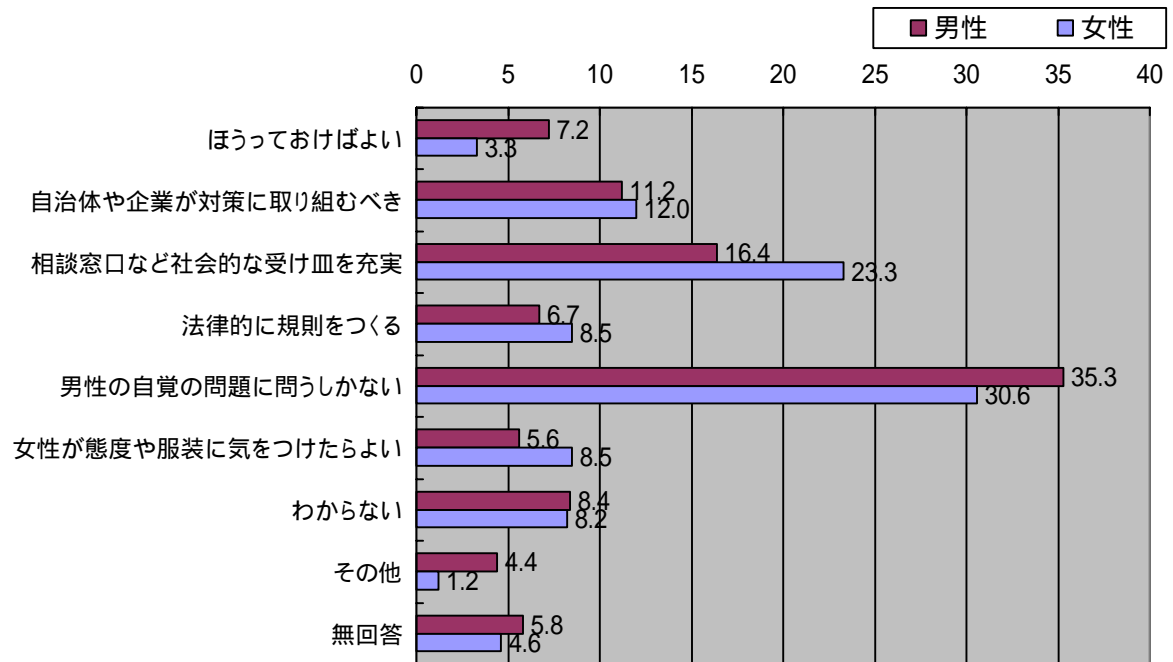
コメント

- ・ 男女とも地域活動への不参加がほぼ半数である。
- ・ 男性の2割が自治体活動へ参加。
- ・ ボランティア活動への参加は男女とも3%弱と少ない。
- ・ 自治会、婦人会を除いて他への参加は男女差があまり出てない。

問 15 (その 1)

セクシャルハラスメント（性的いやがらせ）の解決策についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを 1 つ選んで下さい。

(男女別比較)



コメント

- ・ 「男性の自覚の問題」との回答が男女とも一番多い。特に男性では 35%がそのように回答している。
- ・ 「相談窓口などの社会的受け皿を充実」と考える女性は男性を 7 ポイント上回る。
- ・ 「ほうっておけばよい」との回答は女性が 3%、男性が 7%ある。
- ・ 「女性が態度や服装に気をつけたらよい」と思っている女性は 3 ポイント男性を上回る。

問 15 (その 2)

セクシャルハラスメント（性的いやがらせ）の解決策についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを 1 つ選んで下さい。

（男女別、年齢別比較）

（男性）

（％）

	29 才以下	30 才	40 才	50 才以上
ほうっておく	8.1	6.3	8.3	7.5
自治体企業が対策	10.8	12.3	12.6	11.5
相談窓口など社会的受け皿を充実	11.7	21.5	18.6	15.9
法律的に規則	5.9	6.0	4.5	7.9
男性の自覚	35.1	32.5	40.0	39.1
女性が態度や服装に気をつける	5.4	2.8	4.7	9.9
わからない	14.9	12.0	6.6	6.6
その他	8.1	6.6	4.7	1.6

（女性）

（％）

	29 才以下	30 才	40 才	50 才以上
ほうっておく	2.8	2.3	2.9	6.4
自治体企業が対策	12.3	18.6	12.0	7.3
相談窓口など社会的受け皿を充実	24.1	27.4	25.4	19.4
法律的に規則	12.5	8.3	8.6	5.4
男性の自覚	32.1	31.1	31.7	33.4
女性が態度や服装に気をつける	2.8	4.0	11.3	18.5
わからない	12.3	6.9	7.3	7.7
その他	1.1	1.4	0.8	1.9

（無回答除く）

問 16 (その 1)

職場の男性と女性が互いによきパートナーとして仕事をしていくために重要と考えられるものを 3 つまで選んで下さい。

(男女別)

(%)

	男性	女性
もっと女性の能力を活用する	10.0	5.6
男性だから女性だからの理由で仕事の分担を決めない	18.9	17.1
能力のある女性を積極的に役職に登用する	13.6	10.2
男女の職員数を均等にする	1.8	1.5
女性の職域を拡大にする	6.9	4.5
子育て支援のための条件整備する	6.4	13.5
介護支援のための条件整備をする	3.3	9.2
男にとっても女にとってもやりがいのある仕事づくりをする	18.2	17.7
労働時間を短縮する	3.9	4.7
余暇の活用を工夫する	2.2	2.4
女性の気配り	4.2	2.6
男性の意識改革	7.7	10.0
そのままよい	1.2	0.7
その他	1.7	0.3

コメント

- ・ 「男性だから女性だからという理由で仕事の分担を決めない」と「男にとっても女にとってもやりがいのある仕事づくりをする」が男女ともほぼ同数で上位を占める。
- ・ 「能力のある女性を積極的に役職に登用する」「女性の職域を拡大する」「もっと女性の能力を活用する」との回答は男性の方が女性の回答に対し数ポイントが上回る。
- ・ 「子育て支援、介護支援のための条件整備をする」は女性が男性を数ポイント上回る。
- ・ 「男性の意識改革」との回答が女性は 10%男性は 7%ある。

問 16 (その2)

職場の男性と女性が互いによきパートナーとして仕事をしていくために重要と考えられるものを3つまで選んで下さい。

(男性のみ、年代別)

(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
もっと女性の能力を活用	8.0	8.1	10.6	11.6
男性だから女性だからという理由で仕事の分担を決めない	17.2	21.4	18.3	18.8
能力のある女性を積極的に役職に登用する	9.7	11.6	13.2	17.5
男女の職員数を均等に	3.2	1.8	1.6	1.6
女性の職域拡大	6.3	7.6	7.3	6.2
子育て支援のための条件整備をする	9.5	8.4	6.1	4.0
介護支援のための条件整備をする	4.2	3.5	4.2	1.6
男にとっても女にとってもやりがいのある仕事づくりをする	16.4	18.2	17.7	19.9
労働時間を短縮する	5.2	4.6	3.8	3.0
余暇の活用を工夫する	2.5	1.7	1.9	2.7
女性の気配り	5.0	3.4	4.5	3.9
男性の意識改革	8.9	6.7	8.4	7.1
そのままよい	2.4	1.0	0.9	1.2
その他	1.5	2.0	1.5	0.9

コメント

- ・ 「能力のある女性を積極的に役職に登用する」との考えは年代が高くなるほど多い。
- ・ 全体的には年代別による大きな違いは表されていない。

問 16 (その3)

職場の男性と女性が互いによきパートナーとして仕事をしていくために重要と考えられるものを3つまで選んで下さい。

(女性、年代別)

(%)

	29才以下	30才	40才	50才以上
もっと女性の能力を活用	5.2	4.3	5.6	7.8
男性だから女性だからという理由で仕事の分担を決めない	17.1	16.2	17.3	17.9
能力のある女性を積極的に役職登用する	8.1	10.6	10.5	12.0
男女の職員数を均等に	2.3	1.9	0.9	1.1
女性の職域拡大	4.7	4.0	4.8	4.2
子育て支援のための条件整備をする	19.5	16.8	10.9	5.9
介護支援のための条件整備をする	7.9	9.4	11.3	7.1
男にとっても女にとってもやりがいのある仕事づくりをする	15.8	16.3	18.4	20.7
労働時間を短縮する	4.1	6.7	4.8	3.3
余暇の活用を工夫する	3.0	2.1	2.2	2.0
女性の気配り	1.5	1.6	2.9	4.6
男性の意識改革	10.0	9.7	9.6	11.4
そのままよい	0.4	0.3	0.7	1.5
その他	0.4	0.1	0.1	0.5

コメント

- ・ 「子育て支援のための条件整備」との回答は当然ながら若い世代が多い。
- ・ 「能力のある女性を積極的に役職に登用する」「男にとっても女にとってもやりがいのある仕事づくりをする」との考えは年代が高くなるほど多い。

問17 その1

女性の方にお聞きします。

職場において女性であることが不利だと感じたことがありましたらお書き下さい。

29 才以下

- ・ お茶くみを朝早く時間外にさせないで。させるなら時間外手当がほしい。女性に窓口、庶務を押しつけている。
- ・ お茶くみや後片付けが古い慣習のように行われている。男性も自らやるという姿勢に欠ける。
- ・ 仕事が忙しくて手が離せなくても、お茶だしを言われる。しかも来客用ではなく職員用であることが多い。職員ばかりの会議でなぜお茶出しが必要か。
- ・ コピー等の雑用を多くたのまれる。

- ・ もともと男性のみの職場であるため、女性としての能力適性がいかされていない。受け入れ体制も曖昧である。どうせ嫁入り前の腰ぬけだという考えにより、希望のセクションにも行けない。
- ・ 医者は看護婦を召使のように扱い馬鹿にしている。緊急時に助けてくれない。
- ・ 子供ができると女は不利です。子供がいて働くことはおかしなことでしょうか。
- ・ 女性であることが不利というより臨時職員であるため力仕事が多い。傷つく言葉を浴びせられる。
- ・ 窓口での対応の時、女性だからと思って失礼な話をする人や見下した言い方をする人がいる。
- ・ 男性の態度が女性に対して気配りがない。女がするのが当たり前と考えている。

- ・ 有利と不利はフィフティフィフティです。
- ・ 女性だけの職場で問題なし。

問 17 その2

女性の方にお聞きします。

職場において女性であることが不利だと感じたことがありましたらお書き下さい。

30 才代

- ・ 家庭や子供のことが第1になるので残業や無理な仕事が出来ない。男が仕事に専念できるのは女性の力があってこそである。皆の協力体制が整ってこそ能力が発揮できる。
- ・ 家庭を上手くやっていくために残業を上手くこなすための努力。
- ・ 時間外ができる職員は有能であるという意識があり、家事育児でそれができない女性は不利。

- ・ 雑用をしなくてはならない。忙しくて手が離せない時でもお茶だしを言われる。
- ・ 子育て、家事は女性がすることだという意識があるため、同じ時間働いてもどうしても女性の方が負担は大きい。
- ・ 住宅手当では男性はよくて、女性は世帯主の手続きが必要はおかしい。
- ・ 宿泊研修は家の子が気になり困った。
- ・ 出産のため育児休暇をとり、その間は無給である。
- ・ 女性の能力に偏見を持つ上司の下にいると補助的な仕事しかさせてもらえない。
- ・ 女性は男性を補佐するものという雰囲気がある（仕事の進捗状況を知らされない）。
- ・ 女性役付きの職員が少ない。
- ・ 職場（土木等）によっては女はダメと市民側が思っていることがある。
- ・ 男性ヘルパーがいてもよい。
- ・ 保父さんの採用を検討して下さい。
- ・ 補助的、庶務業務が多く仕事上の具体的な内容からは外されている。

- ・ 女性の特権をわりと利用しているので問題ない。
- ・ 女性だから不利と関したことはない。

問 17 その3

女性の方にお聞きします。

職場において女性であることが不利だと感じたことがありましたらお書き下さい。

40 才代

- ・ ある年齢に達すると男性は仕事ができなくても昇格していくが女性はそうでないように思う。
- ・ お茶くみ、雑用が多く仕事に取り組めない。
- ・ ババとかオバチャンとか嫌味なことを言われる。お茶くみは苦勞にならないが、朝の掃除当番は非常に苦痛です。
- ・ ミーティング会議に出席できない。
- ・ 家事負担がある分、女性が不利だ。
- ・ 苦情処理のとき女性に対応にでると軽視される。
- ・ 研修が必要な年代に子育てが忙しくて泊を伴う出張は受けられない。
- ・ 酒やマージャンでコミュニケーションをとれない。
- ・ 仕事の上に打ち込める男性がうらやましい。
- ・ 仕事は同じ、扱いに差がある。
- ・ 十分仕事ができなくても男性は昇格していく。

- ・ 女のくせにとか、女に何ができるかという考えが伝わってきます。
- ・ 女性が働くために条件整備ができていないので、家族に何かあるとすぐ女性に負担がかかる。
- ・ 女性は雑務が多い。研修や視察の機会が少ない。
- ・ 女性の意見を聞くだけでなく対応してほしい。
- ・ 女性の人数が一人のために意見が通らない事がある。
- ・ 窓口は女性という観念がある。
- ・ 男のする仕事、女のする仕事が暗黙の内に決まっている気がする。
- ・ 同じ指導員として働きながら、男性の指導員との差が大きい。公用車を使いたくても弾性なら黙認され、女性は遠慮がいる。
- ・ 無意識のうちに男性は女性を見下す。

- ・ 女性だけの職場です。男だったらと思ったことはありますが、女性で不利だと感じたことはない。
- ・ 得な面が多い。

問 17 その 4

女性の方にお聞きします。

職場において女性であることが不利だと感じたことがありましたらお書き下さい。

50 才以上

- ・ ほとんどが課長まで上がれず補佐級で終わってしまう。
 - ・ 会議や打ち合わせで決まった事は連絡を密にしてほしい。
 - ・ 自我ばかり強く仕事の上では男性はいりません。
 - ・ 出先の職員に長く勤務した者は研修の機会に恵まれなかった。
-
- ・ 女だから何も知らない、何もできないと頭からそう考えて態度にだす。重要な相談はしない。
 - ・ 女を職場の花ぐらいにしか考えていない。
 - ・ 小さな園で特別主任をつけ、必要性の高いところに主任がいないなど男性優遇がある。
-
- ・ 男性優位の所が多い。私は一步引いてしまう。
 - ・ 地区において重要な会議や、市において重要な会議に殆ど参画していない。
-
- ・ 感じたことはない
 - ・ 逆に有利
 - ・ 男女平等というけれど男性の方が仕事できます。

問 18 その 1

男性の方にお聞きします。

職場の女性への意見または期待がありましたら具体的にお書き下さい。

29 才以下

- ・ いつもお世話いただいて感謝しています。
- ・ いつも笑顔であってほしい。

- ・ 気の強いのも良いが、女性であることを意識し、朝くらいは職員全員にお茶くらい配ってもバチはあたらないと思う。
- ・ 私は女だからこんな仕事しかやらせてもらえないと考えている人がいる。
- ・ 市職員は男女とも総合職。
- ・ 責任や義務を果たさず権利ばかり主張しすぎる。特に動かず働かないおばさんは引退してほしい。
- ・ 他人が電話している時は話し声を小さくしましょう。

- ・ 男女雇用機会均等法が制定されて女性の地位向上が進んでいる今、女性には責任も要求される。自覚も必要。
- ・ 男性と同じだけの義務を果たしてほしい。男性と同等の能力がありながら、仕事に積極的でないものが一部いる。

- ・ 男に負けないで頑張してほしい。
- ・ 男女ともそれぞれの良い特性を生かして働けばよい。

問18 その2

男性の方にお聞きします。

職場の女性への意見または期待がありましたら具体的にお書き下さい。

30才代

- ・ 「私は女だからこの程度で」という意識は捨てましょう。
 - ・ おしゃべりをつつしむ。市民に対して親切、丁寧に接する。
 - ・ プロの意識をもって仕事に取り組んでほしい。
 - ・ やる気のある人はどんどん前に出てきてほしい。
 - ・ ワーカーホリックになれとは言わないが、仕事に前向きさが感じられない人が多い。臨時職員に仕事を放りつけて簡易な仕事の一部のみ自分の分担として、日々送っている者が多く感じられる。
 - ・ 一部の男子職員のように仕事に心を奪われず、生活者としての視点を失わないでほしい。
 - ・ 同僚である女性の足を引っ張らないこと。柔軟な思考をもつこと。
-
- ・ 今まで女性がしていた誰にでもできる仕事を、男女で分担する。お茶くみは各自で行う。
 - ・ 仕事において逃げ道を作らなければ、大いに能力のある人を役職にすべきである。
 - ・ 女性の甘えの部分を含めた意識改革。男性の意識改革は家庭においてが大切である。
 - ・ 女性は育児休暇で長期欠勤することが多く重要なポストにつけることは好ましくない。
 - ・ 男に頼らず自分の仕事に対しては自覚と責任を持ってほしい。
-
- ・ 女性だからと言う遠慮は無用。
 - ・ 自分の能力を出し切って頑張ってください。
 - ・ 男性だから女性だからといわず、積極的に協力していきたい。
 - ・ 我が課の女性は仕事もバリバリで言うことなし。
 - ・ 能力のある女性の登用は大歓迎。

問18 その3

男性の方にお聞きします。

職場の女性への意見または期待がありましたら具体的にお書き下さい。

40才代

- ・ アルバイト気分の職員もいる。女性側にも意識改革が必要。
 - ・ 家事育児を優先する考えを改めなければ、女性は男性と同等に仕事をしていくことは難しい。
 - ・ 要求の業務を時間内、当たり障りなく毎日行っているだけの職員が多い。
 - ・ 仕事から逃げないこと。総合職の理解をすること。
 - ・ 仕事に壁を作って余計な仕事はしないという態度を改める。
 - ・ 全体とは言えないが女性の権利を逆利用するものもいる。
 - ・ 賃金も男女平等であるのだから仕事意識もそれなりに持ってほしい。
-
- ・ 時間外拒否と女性だからという理由で仕事を狭めている。
 - ・ 女性の権利要求型の意識改革でなく、男女相互理解のもとの改革が重要。
 - ・ 女性の特性を男性に意識させないこと。女性にも残業を。5時帰りが多い。
 - ・ 女性も男性も同条件で昇格させ仕事をさせる。女性だから軽い仕事でよいと思わせてはダメである。
 - ・ 生活弱者等の訪問については女性担当が柔軟に対応できる。
-
- ・ 良く頑張ってもらっており、尊敬できる。
 - ・ 皆それなりによくやっていると思う。
 - ・ 積極的に仕事に取り組み、女性的なやわらかさ知性を職場に生かせばよいと思う。

問 18 その4

男性の方にお聞きします。

職場の女性への意見または期待がありましたら具体的にお書き下さい。

50才以下

- ・ 3人寄れば話が長い。
- ・ いつまでも新鮮さを失わず仕事に励んでほしい。
- ・ プロ意識をもってほしい。
- ・ もっと仕事を大切に考えてほしい。無駄な会話をなくしてほしい。会議はもっと積極的なかわりを。
- ・ 家庭生活が中心で責任を持たせられない女性が多い。

- ・ 残業は女性も同じようにするべき。重要な仕事をどしどし女性にも命令してさせるとうよい。
- ・ 私用電話で若い人が長電話している。客への対応に「ウンウン」と言っている。急須でお茶を入れるのはいいが、全部出し切っていないのでお茶が無駄になる。
- ・ 女性は勤務年数が多いと天狗になりがち。

- ・ 職務の面では女性だからという意識は持っていない。
- ・ 地公法で宣誓している以上、災害時においても女性も積極的に活動できる体制を図りたい。
- ・ 昼休みの時間に町へ買いに行くとき、制服を着ていくことに反対。

- ・ 能力ある女性がいるにも関わらず役職登用が少ない。女性のお茶くみ廃止。
- ・ 女性もしっかりした人がいるので役職につけてほしい。

問 19 (その1)

女性課に対して望むことがありましたらお書き下さい。

男性 29 才以下

- ・ 女性のためだけの女性課にならないように。
- ・ もっと男性にアプローチを試しては。
- ・ 一番注目されているので頑張る。
- ・ 女性課の仕事内容を教えてほしい。
- ・ 女性があらゆる職場・職域に進出できるように努力していただきたい。
- ・ 母子家庭のお母さんの支援を。

男性 30 才代

- ・ あまりヒステリックにならず、広い視野で仕事を進めてほしい。
- ・ 何故ゆえに女性課があるのか見えてこない。男性課があってもおもしろい。
- ・ 市民の半分は女性だから庁内のすべてのセクションと関係してくると思う。
- ・ マトをしぼっていくべきだと思う。
- ・ 女性のためだけでなく男性のためになることだと思いますので頑張ってください。
- ・ 女性課が女のかけこみ寺にならないように。
- ・ 女性課の性格がよくわからない。
- ・ 男女の意識が向上し、女性課など設置する必要性のなくなる時代がくることを望む。

問 19 (その2)

女性課に対して望むことがありましたらお書き下さい。

男性 40 才代

- ・ なぜ女性課が必要なのか PR してください。
- ・ 女性が不利益をうけることのないよう、働きやすい環境づくりをめざして頑張ってください。
- ・ 男性課があってもよい。
- ・ 女性課がどのようなポイントあるいはスタンスで活用するのか明確にする必要がある。

男性 50 歳代

- ・ 女性課自体がよくわからない。女性は年休を取って旅行に行く。男性はそうそう休めない。権利と義務の問題を掘り下げて考えてほしい。
- ・ 各課が正しい対応をしていけば女性課はいらない。
- ・ 広い視野で女性の働きやすい職場作りを目指してほしい。頑張ってください。
- ・ 今後の女性課に対して大いに期待できるものを信じます。

問 19 (その3)

女性課に対して望むことがありましたらお書き下さい。

女性 29 才以下

- ・ セクハラに対して取り組んでほしい。市役所からセクハラをなくしてほしい。
- ・ 広報で活躍は聞いているが直接にはわからない。
- ・ 女性が男性とともに働き、生き甲斐を感じられる世の中になるよう頑張る。
- ・ 時代の流れにそった改革を期待しています。
- ・ 女性の意見をくみあげてほしい。
- ・ 片付けは女性という思考をもう少し直してほしい。

女性 30 才代

- ・ 今までにないことをしてくれるのではと期待している。
- ・ 市民向けも必要であるが、庁内での女性に関する種々の身近な問題について早急に取り組んでほしい。女性課が発足し内外にアピールできたことだけでも大きなステップである。
- ・ 女性が生き甲斐を持つ上で、男性の果たす役割の大切さを感じられるような講座・講演を望みます。
- ・ 女性課が何をしているところか具体的にはほとんど知りません。
- ・ 本庁からでている労務職員の身分の向上にも力を入れてほしい。女性課アピールを。
- ・ 女性が活躍できる社会的受け皿を作ってほしい。

問 19 (その 4)

女性課に対して望むことがありましたらお書き下さい。

女性 40 才代

- ・ 我々の年代は男女共生ということがなかなか理解できない。もっと講演や全国女性大会に参加できる道を開いてほしい。
- ・ 共働きをしていると女性の方が家事育児仕事をこなしている。不公平だと思う。不満は一杯です。
- ・ 言いたず事ができない女の声を吸い上げる方法を考えてほしい。
- ・ 社会の底辺で泣いているのはほとんど女性である。そんな女性の相談相手になったり、権利を知らせて立ち上がるようにははげましてやってほしい。
- ・ 女性が積極的に仕事ができるように条件整備の構築へ。
- ・ 女性にとって頼もしい女性課の出現です。
- ・ 嘱託職員でも何年も働いているのは女性が多い。機会があれば意見を聞いて欲しい。正職員以上に大変な仕事を持っている人が多い。
- ・ 人生においてどんな選択をしても不利にならないよう頑張る。
- ・ 能力のある方は課長級の園長として活躍していただきたい。

女性 50 才以上

- ・ 女性をもっと積極的に役職に登録するよう頑張る。
- ・ 告発ということに主きを置かず、男性の意識改革や女性の仕事内容を広く紹介していく。女性の意識改革も必要。
- ・ 市行政の中で女性の地位というものに対してもっと実状を把握してほしい。男でなくてはダメという雰囲気がある。重要な仕事は女性に回ってこない。少しでも意識改革をしてほしい。今のままでは四日市は一流にはなれない。
- ・ 女性ばかりの職場にも目を向けてください。
- ・ 臨時も毎日頑張っていますが、数に入っていない。臨時さんと呼ばれています。私たちの声を聞いていただける窓口がほしい。

市役所で働く男女の意識調査

発行日 平成 7 年 3 月
発 行 四日市市 市民部 女性課
四日市市諏訪町 1 番 5 号
電話 (059) 354 8202